

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

平成4年度特別図書購入報告

特別図書購入費(文部省配分)によって下記資料を購入し、本館に備え付けましたのでご利用下さい。

番号	資 料 名	内 容	出版形態
1	韓国経学資料集成 No.35~48 (孟子1~14)	四書の内、既刊(論語・大学・中庸/所蔵)に続くもので、韓国哲学史・思想史上における儒学の展開を知る上でまとまりのある資料集である。	図 書 (影 印)
2	美術工芸品の取扱い方 (博物館実務ビデオ講座) 1巻~8巻	古文書・軸装の古典資料を含む多様な美術工芸品の取扱い法が具体的に解説され、史料理解の教材としても有効なものである。	ビ デ オ
3	British journal of aesthetics. Vol.1~6(1960~1966)(英国美術雑誌)	英国美学協会発行の学術誌で美学全般にわたる論文を収録している。	オリジナル
4	新編 国歌大観 全10巻(1組)	勅撰集・私撰集から歌学書・物語・日記等収録の和歌まで約22万首が収録され、各巻は歌集編・索引編の二部構成より成る。日本文学研究の上で必須の参考資料である。	図 書
5	Rinascimento. Vol.20~28(1980~1988) (ルネサンス研究)	ルネサンス期の思想に関する論文を含むのみならず、幾多の貴重な原典も入っている。 ルネサンスの思想を研究するためには不可欠な雑誌である。	オリジナル
6	郵便報知新聞 第2673~3550号 (明治15~17年)	明治前期の東京で発行された新聞で、自由民権運動の高まりの中で民権派(改進黨)の機関誌として急進論を展開した。	復 刻 版
7	近時評論 第1~7巻 (明治9~16年) 扶桑新誌 第1~4巻・ 政海誌叢 第1~6号 (明治11~16年)	「近時評論」は、明治9年に林正明の主宰する共同社から創刊された民権派の代表的雑誌のひとつ。 ラジカルな政府批判によりしばしば発禁等の処分を受けたが、同じく共同社から刊行された「扶桑新誌」は、その間の身代わり雑誌的な意味を持ったとされている。	復 刻 版
8	Goldsmiths'-Kress Library of Economic Literature. Reel No.2245-2269, 2253-A, & Bibliography Vol.4-5 (ゴールドスミス図書館所蔵 社会科学学術図書集成)	ゴールドスミス(ロンドン大学)・クレス(ハーバード大学)両図書館所蔵の19世紀刊行の社会科学全般にわたる学術図書のマイクロフィルム版。 この資料集は現存する社会科学関係の図書のうちでも、第一級の価値をもつものであり、政治・経済・社会史の研究にとって不可欠のものである。	マイクロフィルム & 図 書
9	Early English Books. Sec. II Unit.85 Reel No.2125~2143 Sec. II Unit.86 Reel No.2144~2164 (近世初期英語印刷文献集成)	清教徒革命から王政復古にいたる期間(1641~1700)の英国初期刊行本を収録。	マイクロフィルム
10	早稲田文学・第二次 第1~157号 (明治39~大正7年) —全13巻、付録1巻—	自然主義文学の拠点ともいわれる「第二次・早稲田文学」の復刻版で、演劇・芸能を含む総合的な文芸誌として近代日本文学を彩る重要な資料である。	復 刻 版
11	第二次・明星 創刊号~48号(終巻) (大正10年~昭和2年) ※別冊(解説・総目次)付	明治代の「明星」「スバル」を継承する雑誌で、大正・昭和にかけて歌壇・文壇・更には画壇にまたがる秀れた作品・評論を収録し、近代文学・近代芸術の成立過程を辿るうえで重要な資料である。	復 刻 版

平成4年度参考図書購入報告

参考図書費（文部省参考図書購入費，本学共通経費，文・教・法・経四学部間共通費等）により平成4年度に購入し，本館レファレンス・コーナーに配置した参考図書のうち主な資料を下記のとおりお知らせします。

◆和 漢 書◆

1. 日本著者名総目録 48/76
第1～11巻（個人著者名・団体著者名・書名索引）
2. 翻訳図書目録 88/92 第1～3巻
3. 官庁刊行物総合目録 第1～8巻
4. 外交史料館所蔵 外務省記録目録 第1～2巻
5. 現代日本執筆者大事典 第1～4巻
6. 近代雑誌目次文庫 第11～13巻
7. 世界歴史大事典 第1～22巻
8. 漢語大詞典 第8～9巻
9. 朝日新聞 復刻版 明治編 第1期 第1～13巻
10. NHKふるさとデータブック 第1～2，6～10巻
11. 国立国会図書館蔵書目録 第3～9編，書名索引，著者名索引

◆洋 書◆

1. Contemporary Author. Vol.134～137.
2. Social Sciences Citation Index 5 Year Cumulation. 1966～70. Vol.5～10.
3. The Encyclopedia of Islam. Vol.7, Index to Vol.1～6.
4. Encyclopedia of Science and Technology. Vol.1～6.
5. General Biographical Dictionary. Vol.1～2.
6. Brockhaus Enzyklopädie in vierundzwanzig Bänden. Bd.17～19.
7. Internationale Bibliographie der Rezensionen Wissenschaftlicher Literatur. Bd.19～22.

◆その他主な継続受入資料◆

1. 国立国会図書館所蔵洋図書目録
2. 国立国会図書館国内逐次刊行物目録
3. Ulrich's International.
4. The Europa World Yearbook.
5. Commonwealth Universities Yearbook.
6. Whitaker's Almanack.
7. International Who's Who.
8. Books in Print. (Authors, Titles, Publishers, Subject Guide).
9. Comprehensive Dissertation Index Supplement.
10. Internationale Bibliographie der Zeitschriftenliteratur aus Allen Gebieten des Wissens.
11. Verzeichnis lieferbarer Bücher: German Books in Print.

第34回東北地区医学図書館協議会

標記協議会が去る10月21日～22日の両日、当番館弘前大学附属図書館医学部分館を会場として、加盟7館から館長（分館長）・主任司書14名が参加して開催された。協議に先立ち鈴木分館長から挨拶があり、議長は慣例により当番館の鈴木分館長が選出され、出席者の自己紹介の後、議事に入った。報告事項及び協議事項等は以下のとおりである。

報告事項：①各館の近況報告、②日本医学図書館協会評議員会報告、③BLDSC (British Library Document Supply Center) 文献複写利用報告

承合事項：①外国雑誌の購入について、②科学研究費をもって文献複写料金の支払いについて。

協議事項：①外国雑誌の東北地区における分担収集について、②平成5年度情報検索担当者会議について、③日本医学図書館協会理事および監事について、④日本医学図書館協

会評議員について、⑤機関誌「医学図書館」編集協力委員について、⑥協会出版物「年次統計」の次期編集担当館について、⑦第65回日本医学図書館協議会総会における東北地区からの提出議題について、⑧次期当番館等について 協議された。

次期評議員館および出版物編集協力委員館等について次のとおり確認した。

日本医学図書館協会評議員：秋田大学附属図書館医学部分館、機関誌「医学図書館」編集協力委員館：秋田大学附属図書館医学部分館、協会出版物「年次統計」次期編集担当館：弘前大学附属図書館医学部分館

また、平成5年度情報検索担当者会議は東北大学附属図書館医学分館を会場として、11月25～26日に開催することが了承され、次期当番館は岩手医科大学附属図書館に決定し、2日間にわたる会議を終了した。

(医学分館)

平成5年度東北大学附属図書館職員総合研修会

標記の研修会は、10月28日（木）午後1時半より、2号館会議室において開催された。

東北地区大学図書館協議会が共催となった今回の研修会には、東北各県から19館78名の参加があった。

はじめに、在外研究員として半年間イリノイ大学に在籍し、9月に帰国した本館逐次刊行物掛長の佐藤義則氏から「イリノイ大学の図書館事情」と題した講演があった。

内容は、大学図書館としてはハーバード大学、イエール大学に次いで米国第3位の蔵書数を誇るイリノイ大学図書館の概要と、コンピュータの利用や州内の相互貸借システム等についての説明であった。

また、実際に同大学のデータベースに接続し、オンラインで同大学図書館の蔵書検索を行いながらの説明では、日本の図書館システムとの大きな違いを知ることができ、大変貴

重な内容の講演であった。

つづいて、学術情報センター事業部データベース課文献データベース係長の米沢誠氏から「データベースの新しい動きについて」と題した講演があった。

内容は、新聞の電子縮刷版等、最近の画像データベースのニュースにふれながら、これからの学術情報データベースと、NACSIS-IRの役割についての説明であった。

なかでも、共通フォーマットによる学術論文のデータベース化や、「学術雑誌目次速報DB(仮称)」形成の計画は、これからの情報サービスの動向を知る上で大変有益な講演であった。

なお、講演の終了後には活発な質疑応答が交わされ、研修会は盛会の中に閉会した。

(総合研修委員会)

平成5年度総合目録データベース実務研修会を受講して

医学分館整理掛 佐藤 博子

平成5年11月8日から12月3日までの4週間、「平成5年度総合目録データベース実務研修会」を、受講させていただきました。

平成5年度は、「目録基準ⅠとⅡの講義要綱作成」が、メインテーマでした。受講生12名が3班に分かれ、班ごとに要綱を作成するという形式で、研修会は進められました。

第1週目は、開講式を始めとして、学術情報システム全般にわたる概論と現状についての話がありました。その中でも特に、「データ品質管理解説」では、学情システムに登録されるデータの品質を、低下させないように管理し、蓄積して行くことの重要性を痛感しました。現在、初任者のための講習会はありますが、数年の経験を積んだ中堅者に対する講習会は行なわれておりません。日常業務を通しての、目録基準の共通理解・再確認のためにも、何らかの形での「中堅者のための講習会」が、必要ではないでしょうか。せめて、東北大学内だけでも、年1回「目録担当者会議」のような集りがあったら良いと思います。

第2週目は、基準Ⅰ・Ⅱの講義要綱作成演習と、発表がありました。自分では理解できたと思える項目でも、初めて聞く人に、制限時間内で、要点をおさえ、分かりやすく筋道を立てて話すことのむずかしさを、感じました。

第3週目は、2週目でまとめた要綱をもとに、それぞれの分担に従って、講習会の予行演習を行いました。私は、「雑誌登録実習Ⅰ」のコマで、雑誌目録の所蔵の新規登録・追加修正の講義を、担当することになりました。予行演習をしてみて、どのような口調で講義を進めたらよいかという迷いも生じました。

第4週目、いよいよ「平成5年度第6回目録講習会」が始まりました。今回の受講生は

28名。ほとんどが私立大学の図書館の方々に、目録歴は、大ベテランから、数ヶ月の新任の方々まで。末端操作も、6ヶ月以上の経験者から、全く初めての方々と、様々でした。

私の担当は、演習を含めて3時間半という長丁場のものでした。雑誌目録担当者が、日常的に携わる基本作業なので、「ここできちんと理解してほしい。」という気持ちで、講義を進めました。理解していただけたでしょうか？新米臨時講師でごめんなさい。

最終日は、午前中講師補助、午後に終了式と、本当にあわただしい一日でした。実務研修会が始まる時には、「4週間も」と、思ったものですが、終わってみれば、「あっという間」という気がします。しかし、私の不在中、仕事を分担し、支えてくれていた上司・同僚に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。これだけまとまった期間、目録システムの勉強をする機会を与えていただいたことは、私にとって、非常に有意義でしたし、今後、何らかの形で還元していかなければと、思っております。

いつも、末端の画面を通して見ていた学情センターを、自分の目で見、センターの方々と直接話し、遠い存在と思っていた学情センターを、身近に感じる事ができたことは、今後とも、図書館で仕事を続けて行く上での、貴重な経験になりました。学情センターの皆様、いろいろお世話になり、ありがとうございました。

4週間の研修期間中、和気あいあいと、互いに協力し合って勉強し、それぞれの図書館に戻って行った同期の仲間との交流も、大切にして行きたいと、思っております。

(さとう・ひろこ)

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

平成 5 年度情報検索担当者会議

標記会議が、東北地区医学図書館協議会の主催、日本科学技術情報センター（JICST）東北支所の後援により、平成 5 年 11 月 25～26 日の両日に亘って、医学分館に於て開催された。この会議は、本協議会加盟館 7 館、及び東北地区の医療機関の情報検索担当者が出席し、研修を深めるものであるが、今回で 13 回目を数えるに至っている。

佐藤医学分館事務長の進行で進められ、一日目は、林医学分館長、今井 JICST 東北支所長の挨拶、出席者の自己紹介、鈴木 JICST 研修・技術相談部門情報員による「医学関連ファイルの解説」と題する講演が行われた。10 名の出席者のうち、半数以上が検索業務 1 年未満であったが、丁寧で初心者にも

わかり易く、又要点を絞った簡潔明快な説明であった。更に、1994 年版 MeSH の特徴と変更点、新しいファイル JAPICDOC（医薬品の有効性・安全性に関する文献ファイル）の概要など、検索上重要な情報の提供及びその解説がなされた。

二日目は、前日解説されたファイルを実際に利用しながらの事例研究が行われた。新聞記事を基に、最近の医薬界のトピックスを検索実習で早速調べてみるなど、受講した知識を即応用するレベルの高い内容であった。質疑応答も活発になされ、情報検索への参加者の熱意が伺われる有意義な会議であった。

（医学分館）

お 知 ら せ

平成 6 年度・東北大学附属図書館（本館）の開館時間について

このことについて、下記のとおりお知らせします。

なお、この計画を変更する場合は、その都度お知らせしますのでご了承ください。

記

I. 【開館時間】

	時 分	時 分
平 日	9 : 00	20 : 00
土曜日	9 : 00	17 : 00

但し、次の期間は開館時間を変更します。

期 間	開 館 時 間
平成 6 年 4 月 1 日(金)～4 月 9 日(土)	平 日 9 : 00～17 : 00 土曜日 9 : 00～12 : 30
〃 7 月 30 日(土)～9 月 3 日(土)	
〃 12 月 24 日(土)～12 月 27 日(火)	
平成 7 年 1 月 5 日(木)～1 月 7 日(土)	
〃 2 月 25 日(土)～3 月 31 日(金)	

II. 【休 館 日】

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律・第 3 条に規定する休日
- (3) 本学創立記念日（6 月 22 日）
- (4) 年末年始（12 月 28 日から翌年 1 月 4 日まで）
- (5) 本学学位記授与式当日（確定次第掲示）
- (6) 館長が必要と認めた日

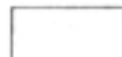
東北大学附属図書館（本館）
平成6年度（1994年度）・開館計画表

4 月	日	月	火	水	木	金	土	10 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	*	*	*	*	1	2		*	*	*	*	*	*	1
	3	4	5	6	7	8	9		2	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15	16		9	⑩	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22	23		16	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	⑳	30		23	24	25	26	27	28	29
	*	*	*	*	*	*	*		30	31	*	*	*	*	*
5 月	日	月	火	水	木	金	土	11 月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	③	④	⑤	6	7		*	*	1	2	③	4	5
	8	9	10	11	12	13	14		6	7	8	9	10	11	12
	15	16	17	18	19	20	21		13	14	15	16	17	18	19
	22	23	24	25	26	27	28		20	21	22	㉓	24	25	26
	29	30	31	*	*	*	*		27	28	29	30	*	*	*
	*	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*
6 月	日	月	火	水	木	金	土	12 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	*	*	1	2	3	4		*	*	*	*	1	2	3
	5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17	18		11	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	㉓	24
	26	27	28	29	30	*	*		25	26	27	28	29	30	31
	*	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*
7 月	日	月	火	水	木	金	土	1 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	*	*	*	*	1	2		①	2	3	4	5	6	7
	3	4	5	6	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14
	10	11	12	13	14	15	16		⑮	⑯	17	18	19	20	21
	17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28
	24	25	26	27	28	29	30		29	30	31	*	*	*	*
	31	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*
8 月	日	月	火	水	木	金	土	2 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	1	2	3	4	5	6		*	*	*	1	2	3	4
	7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	⑪
	14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	23	24	25
	28	29	30	31	*	*	*		26	27	28	*	*	*	*
	*	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*
9 月	日	月	火	水	木	金	土	3 月	日	月	火	水	木	金	土
	*	*	*	*	1	2	3		*	*	*	1	2	3	4
	4	5	6	7	8	9	10		5	6	7	8	9	10	11
	11	12	13	14	⑮	16	17		12	13	14	15	16	17	18
	18	19	20	21	22	㉓	24		19	⑳	21	22	23	㉔	25
	25	26	27	28	29	30	*		26	㉔	28	29	30	31	*
	*	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*

注 1) ○印：休館日

2) △印：休館日（予定）

3)



内：開館時間の変更時間

平 日－9:00～17:00

土曜日－9:00～12:30

会 議

◎学 内

6. 2. 14 附属図書館自己点検・自己評価
小委員会（2回）

6. 2. 21 附属図書館書庫内資料再配置等
に関する検討委員会（第3回）

6. 3. 3 第3回附属図書館商議会

協議事項

- (1) 自己点検・自己評価について
- (2) 附属図書館書庫内資料の再配置について
- (3) 平成7年度概算要求について
- (4) その他

報告事項

- (1) 第67次国立七大学図書館協議会について
- (2) 各分館からの報告

- (3) その他

6. 3. 3 分館長会議

協議事項

- (1) 平成5年度図書館資料費の追加配分について
- (2) その他

編 集 後 記

本学は、従前から留学生を受け入れてきましたが、近年とみに増加しつつあり、平成5年度の留学生数は696人に達しています。大学に限らず、社会全般においても国際化が叫ばれて久しくなりますが、最近では、国際交流はますます重要になっているように思われます。本号では、このような背景のもとに国際化と図書館について特集を試みました。大学の研究室や図書館での小さな交流が、海を越えて相互理解を深め、ひいては国際平和のため一助になればと願う次第です。

研究に勉学にあるいは仕事にあわただしい毎日を過ごされているなか、館報のために時間を割いてご寄稿いただいた方々に心からお礼を申し上げます。

館報は、年4回発行を予定しておりましたが原稿の依頼、割付、校正、……などに手間取ったため刊行が遅れたり、心ならずも合併号になるなどありました。この経験をふまえて、今後一層充実した親しまれる“木這子”を目指したいと思います。

この一年、ご迷惑を掛けた読者の方々にお詫びするとともに、お忙しいなかをご寄稿いただいた執筆者の方々と広報委員とともども喜びと苦勞を分かち合いたいと思います。(T)

広報委員

伊藤 則男	武田 光佳	佐々木正一
對島 庸二	前田 裕子	佐藤 義則
湯本 智子	佐藤 博子	京極 菊子
塚田 博子	柴田 淑子	

東北大学附属図書館報「木這子」 第18巻 第4号（通巻66号） 発行日 平成6年3月31日

発行人 岩元忠幸 広報委員長 伊藤則男

発行所 東北大学附属図書館 仙台市青葉区川内 電話 代表 222-1800 (2440)